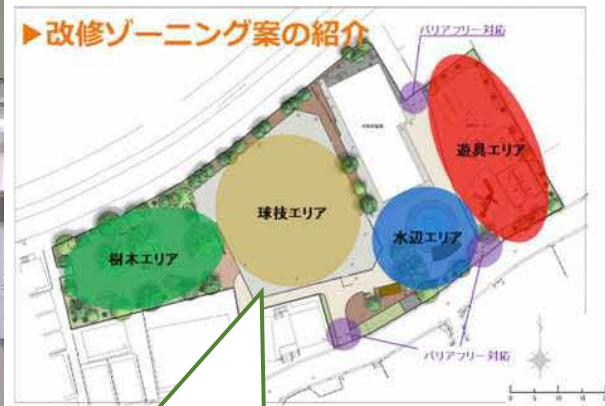


第2回ワークショップの流れ

1. はじめに

前回の第1回ワークショップの内容を振り返り、現段階の大和公園改修ゾーニングプランをご紹介します。



第1回ワークショップの結果から、樹木エリア、球技エリア、水辺エリア、遊具エリアの4つのエリアにゾーニングしました。

2. ワーク開始

前回の第1回ワークショップにて、参加者の皆さんから頂いた「大和公園の理想の将来像」を実現しようとする際に、懸念事項や設置条件など課題となる項目をお伝えし、参加者の皆さんに考えていただきました。



皆さん沢山の意見を付せんに書いていただきました。

3. 発表

ワークで参加者の皆さんに検討していただいた、課題を全員で共有しました。参加者の皆さんのからは、様々な視点からの案が出され議論が進みました。



参加者全員で意見を共有しました。

開催内容と、今回のワークショップで頂いたご意見のまとめは、[大和公園再整備ニュース vol.2.5](#)をご覧ください。

球技ができる公園		実現判断	
将来像	実現するための課題、条件等		
<p>○</p> <p>ボール壁当て</p> <p>音の出ない 横カバのせっち討</p>	<p>ボールがネットや壁等に当たると音が出て周辺への迷惑となることが懸念されるため、ルールづくりや周辺住宅との合意形成が必要となります。</p>	<p>音の出ないカバのせっち討</p> <p>横カバのせっち討</p>	<p>カバにまじりかいて、ゴールとカバの間にサッカーゴールの印の工夫</p>
<p>△</p> <p>サッカーゴール</p>			
<p>△</p> <p>バスケットゴール</p>		<p>バスケット - 上高田の印の組み立て</p>	